

# 国民年金基金

疑問解消！



## Q & A

国民年金基金の  
広報キャラクターkokky

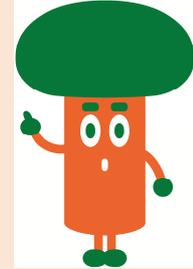


国民年金の他に、  
どのくらい入る必要があるの？

- 会社員は、厚生年金保険料として、自動的に給与・賞与から年金保険料が天引きされ、将来に備えているんだ。
- 将来、**厚生年金並の年金月額を受給したい場合**、弁護士で国民年金のみの方は、同程度の積み立てをする必要があるよ！**30代から、毎月5万を目標に！**

<参考：厚生年金の毎月の保険料>

☆30代・年収800万の会社員→毎月6万円程度



年金商品て色々あってわかり辛い！

年金商品は数多くあるけれど、中でも国民年金基金は、公的年金の上乗制度として税制優遇のある有利な制度で、給付額も確定しているので安心だよ。



	給付額 保証	終身 給付	税金・ 手数料	利率
<b>国民年金基金</b>	○	○	○	1.50%
弁護士互助年金	○	○	×	1.25%
小規模企業共済	○	×	○	1.00%
個人年金保険	△	△	×	—
iDeCo	×	△	△	—

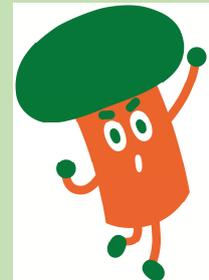


もう50代だし、今更入っても  
メリットないのでは？

国民年金基金の税制優遇措置は、収入の多い人ほど、大きなメリットを受けられるし、配偶者（※）の加入分も自分の保険料控除にできるよ。それに、基金は最長65歳まで加入できる（※）から、今からでも十分メリットがあるよ。※詳しい加入要件は個別にご確認ください。

☆年収3000万円の方→年額41万円×2人の節税効果

**基金で50歳から1000万円節税！**



【お問い合わせ・WEB資料請求】

日本弁護士国民年金基金

TEL：03-3581-3739 FAX：03-3581-3720

東京都千代田区霞が関1-1-3 弁護士会館14F

URL：<http://www.bknk.or.jp>

スマートフォン  
専用サイトは  
こちら

